

SOPHIA U

2025年度卒業時成長実感調査 結果報告

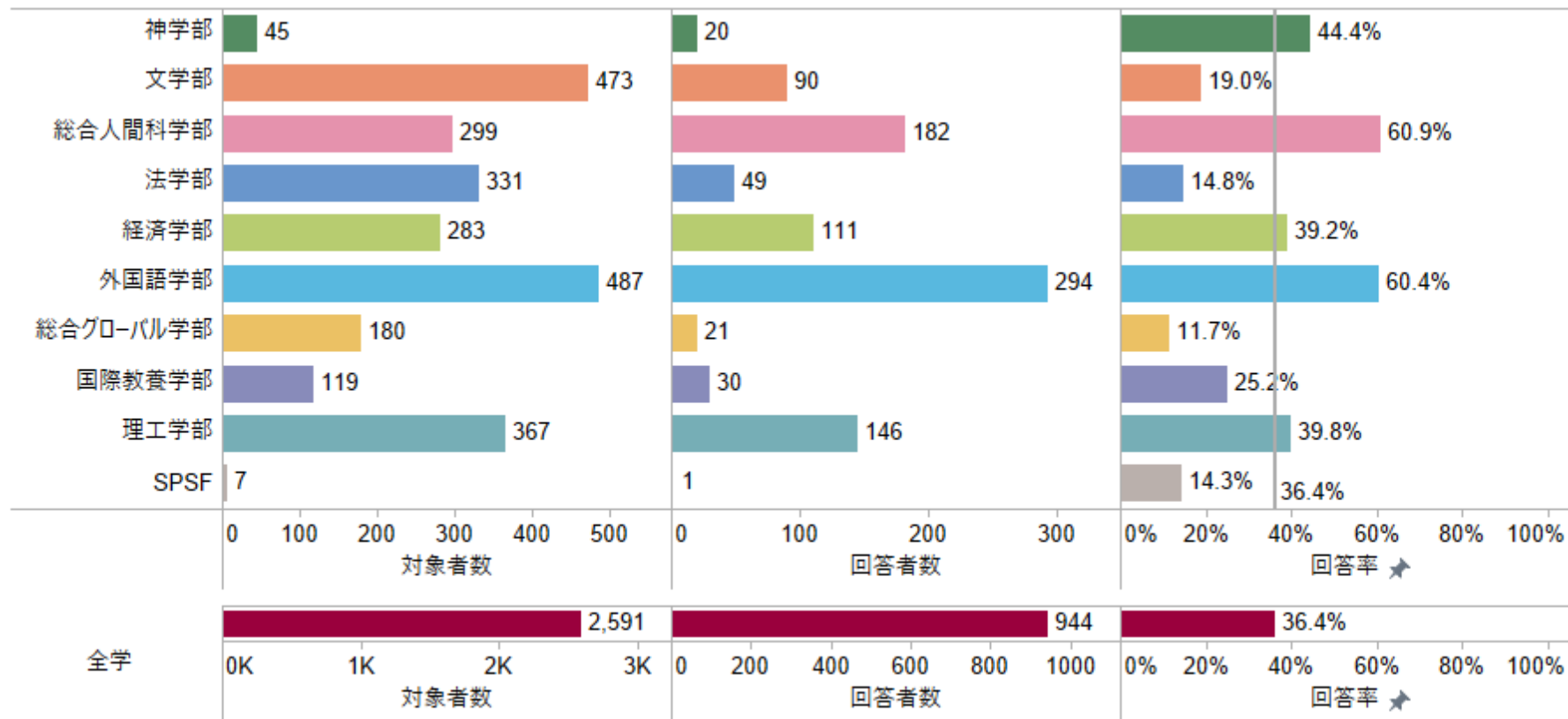
IR推進室

調査期間：2026年3月16日（月）～3月31日（火）

調査対象：2026年3月卒業生



2,591名の卒業生に対し944名から回答があり、回答率は36.4%。
学部によって回答率に差がある。

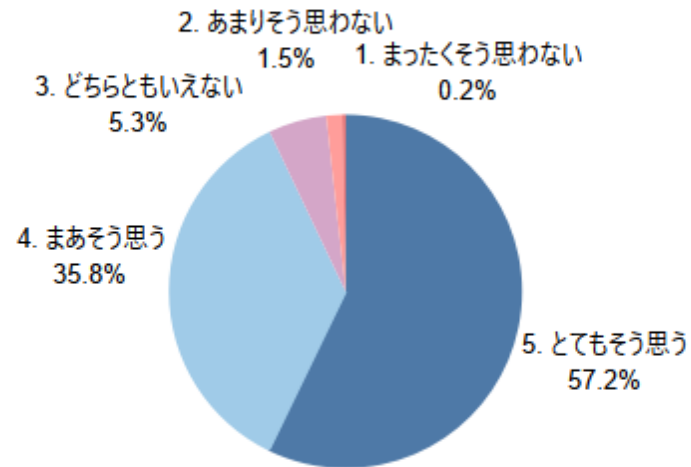
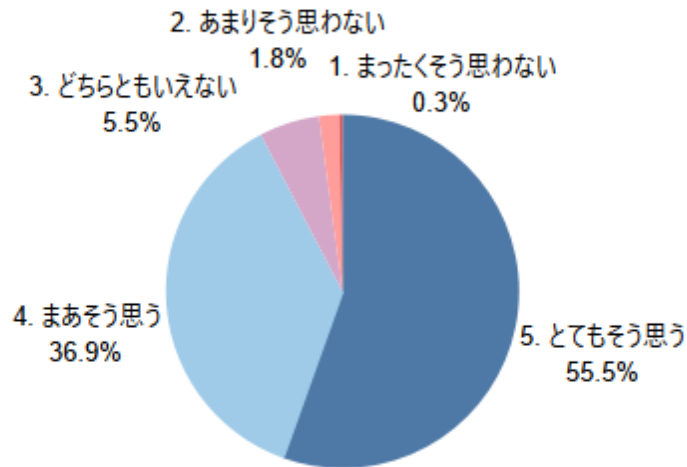


90%を超える卒業生がDPに記載された力が身についたと感じている。 カリキュラムが効果的だったとする卒業生も90%超。

上智大学のディプロマ・ポリシーについてお伺いします。

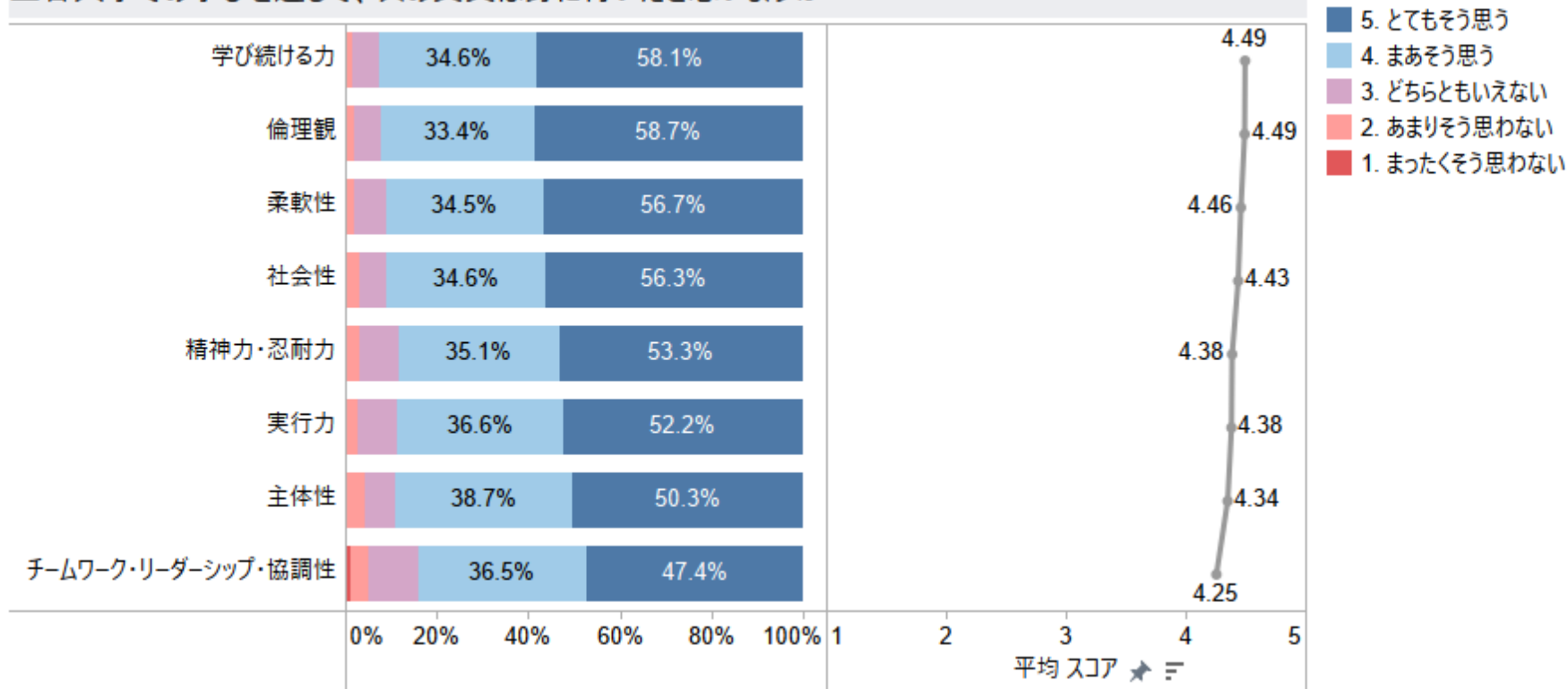
上智大学の学部教育を通じて身に付いたと思えますか

上智大学のカリキュラムは、この力を身に付けるのに効果的でしたか



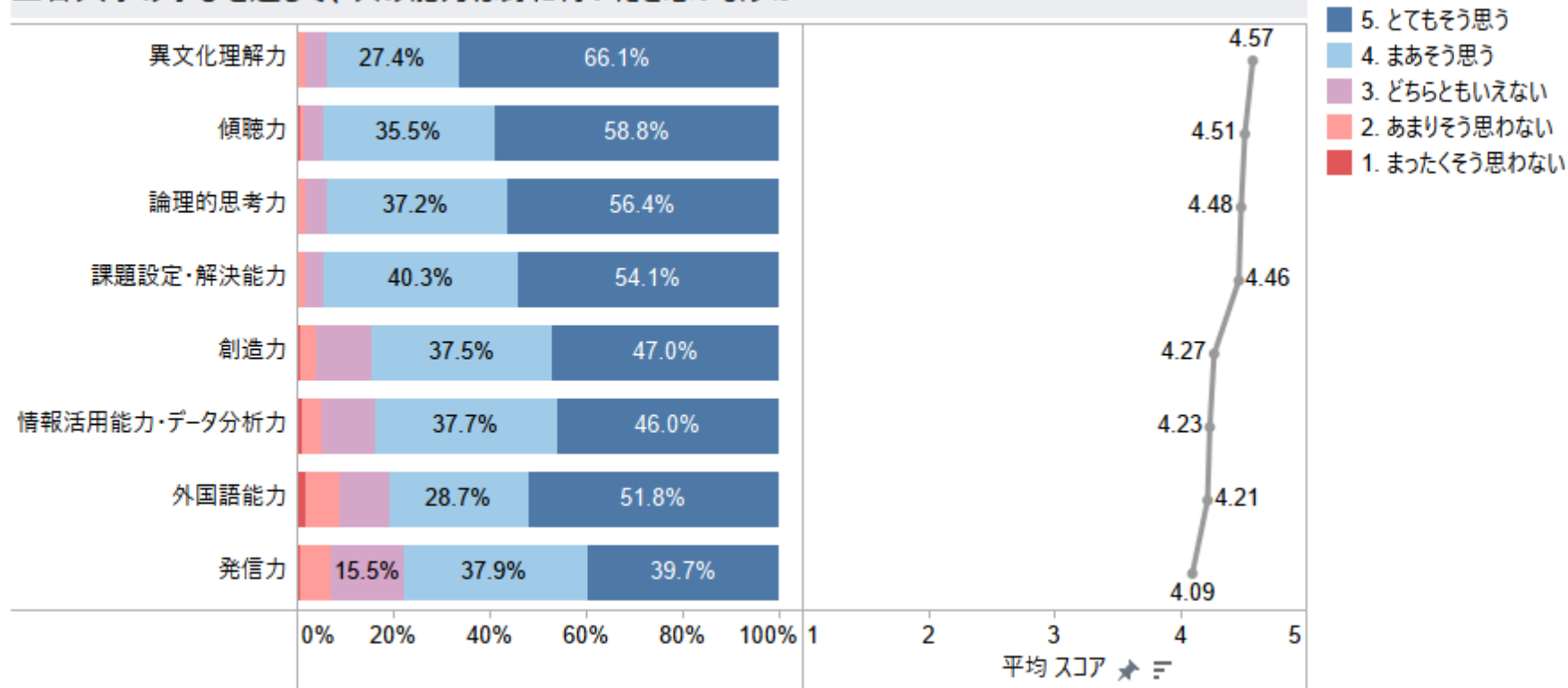
資質は概ね「身についた」としている。
「学び続ける力」のスコアが相対的に高い。

上智大学での学びを通じて、次の資質は身に付いたと思いますか



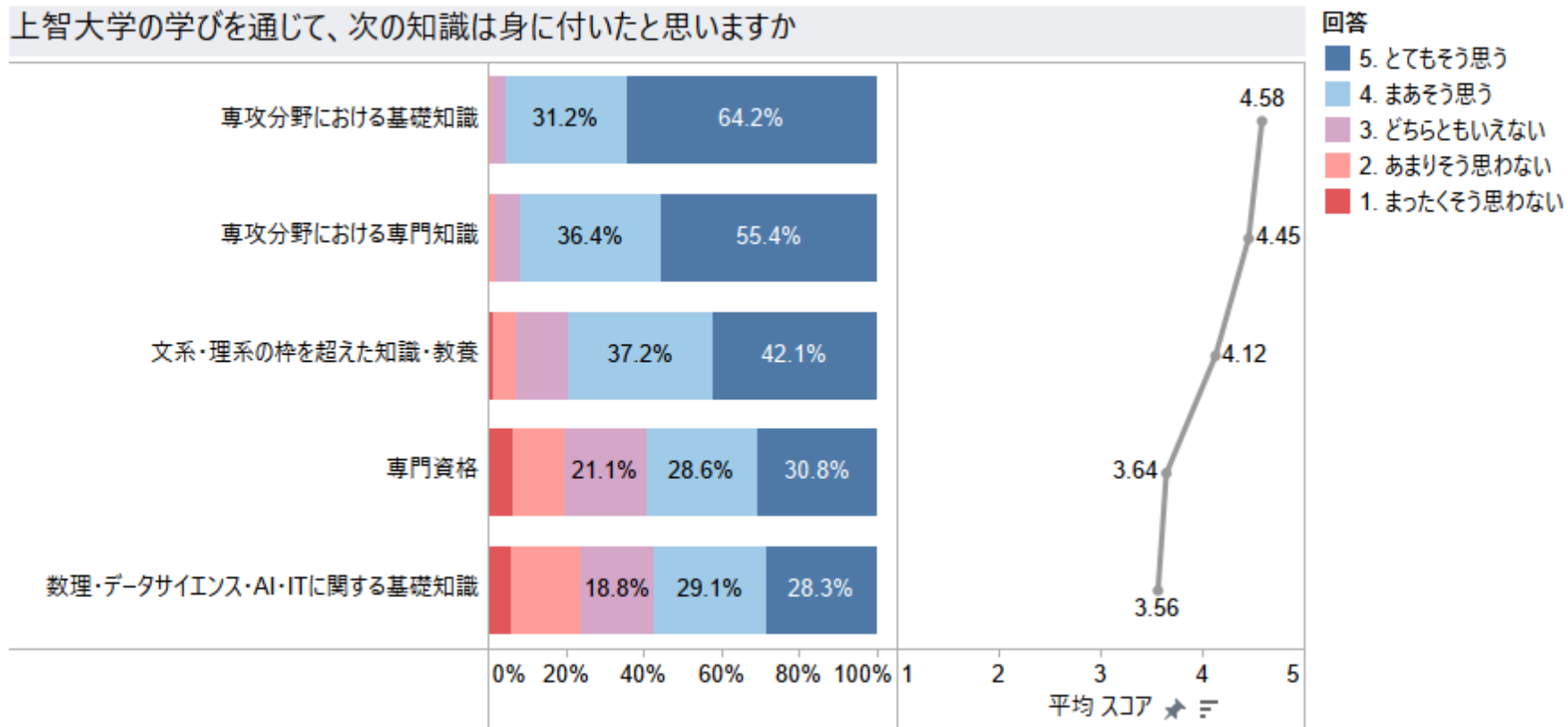
能力も概ね「身についた」としている。
 相対的に「異文化理解力」のスコアが高い。

上智大学の学びを通じて、次の能力は身に付いたと思いますか



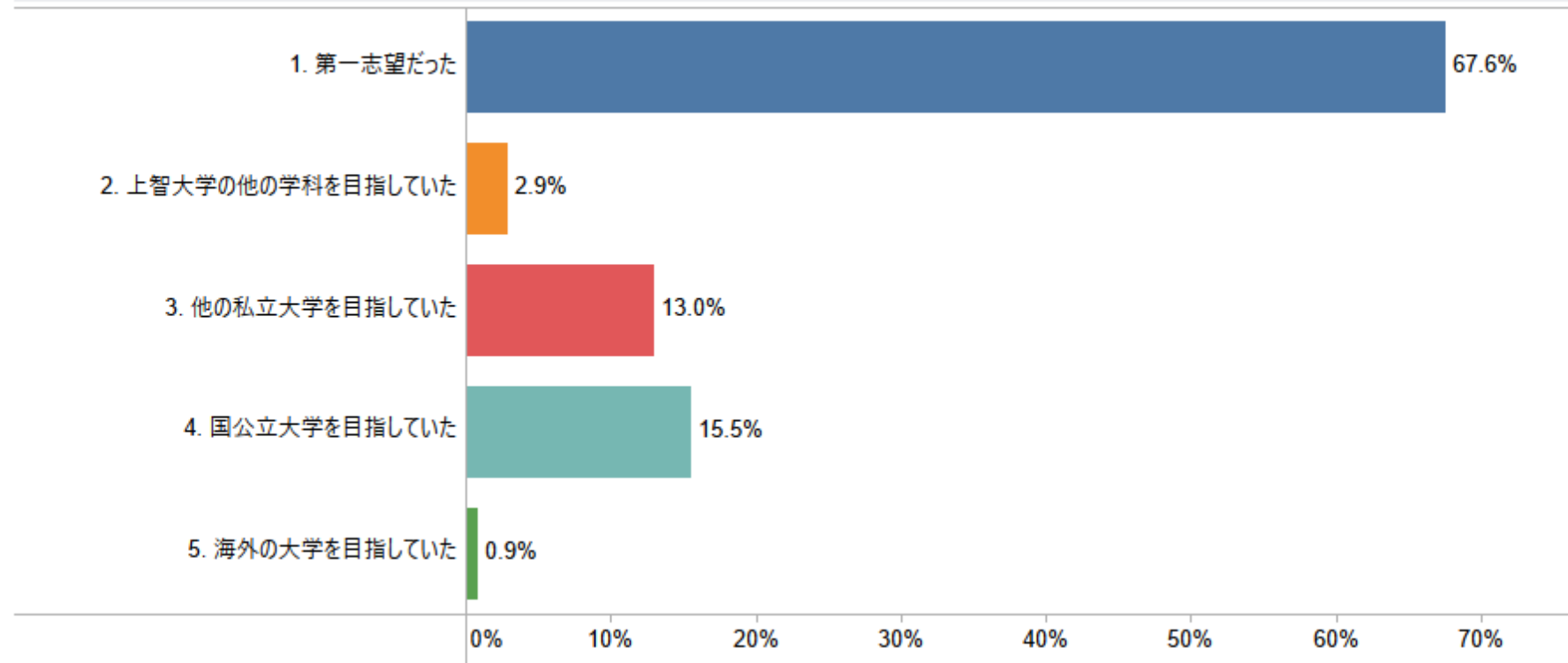
「専攻分野の基礎知識/専門知識」「文理の枠を超えた知識・教養」は概ね「身についた」。
 「専門資格」「数理・データサイエンス・AI・ITに関する基礎知識」は相対的に低い。

上智大学の学びを通じて、次の知識は身に付いたと思いますか



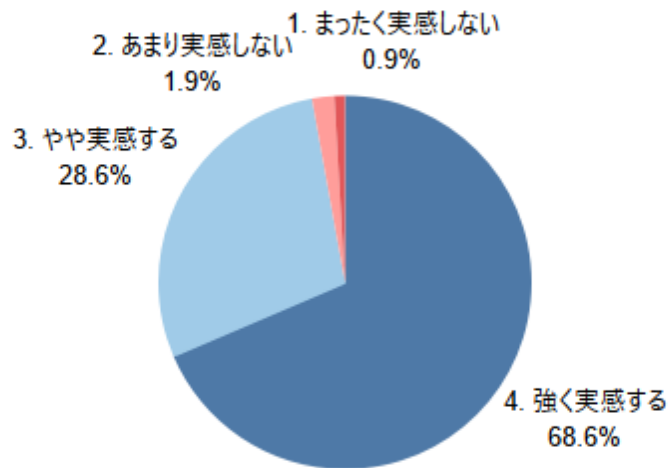
第一志望で入学した卒業生は67.6%。

あなたが卒業する上智大学の学科は、第一志望でしたか



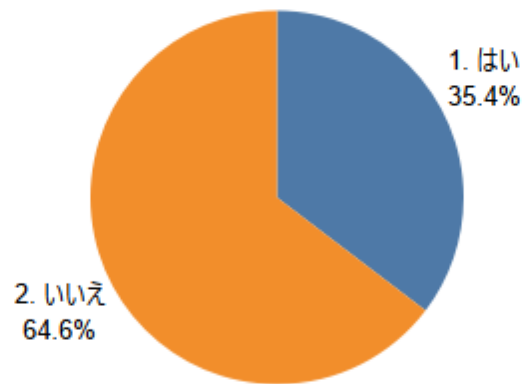
卒業生の97.2%が何らかの成長を実感している。
過半数（68.6%）の卒業生が強く実感している。

あなたは、上智大学在学中に何らかの成長をした実感がありますか。あなたの気持ちにあてはまるものを選んでください



留学を経験した卒業生は35.4%。

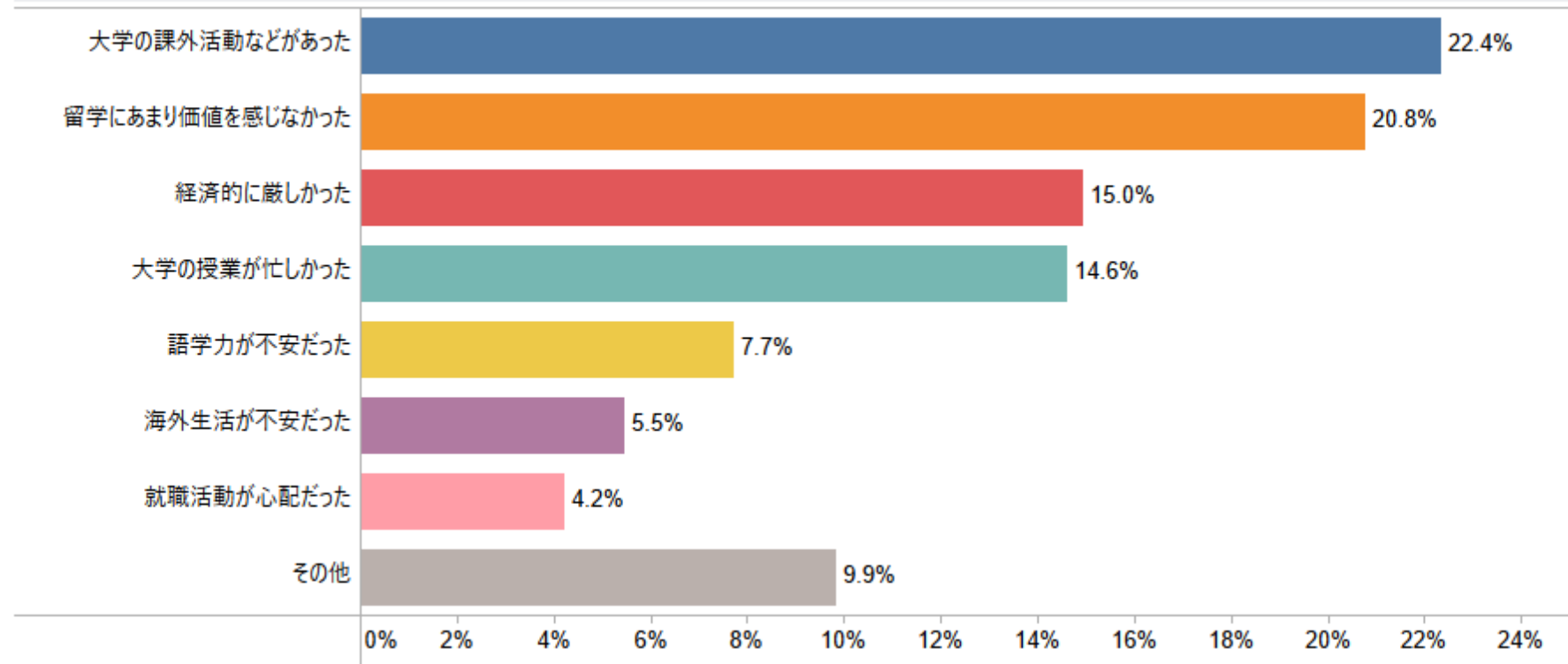
上智大学在学中に、海外留学（交換留学、短期留学、語学研修など）を経験しましたか？



留学しなかった理由として多かったのは

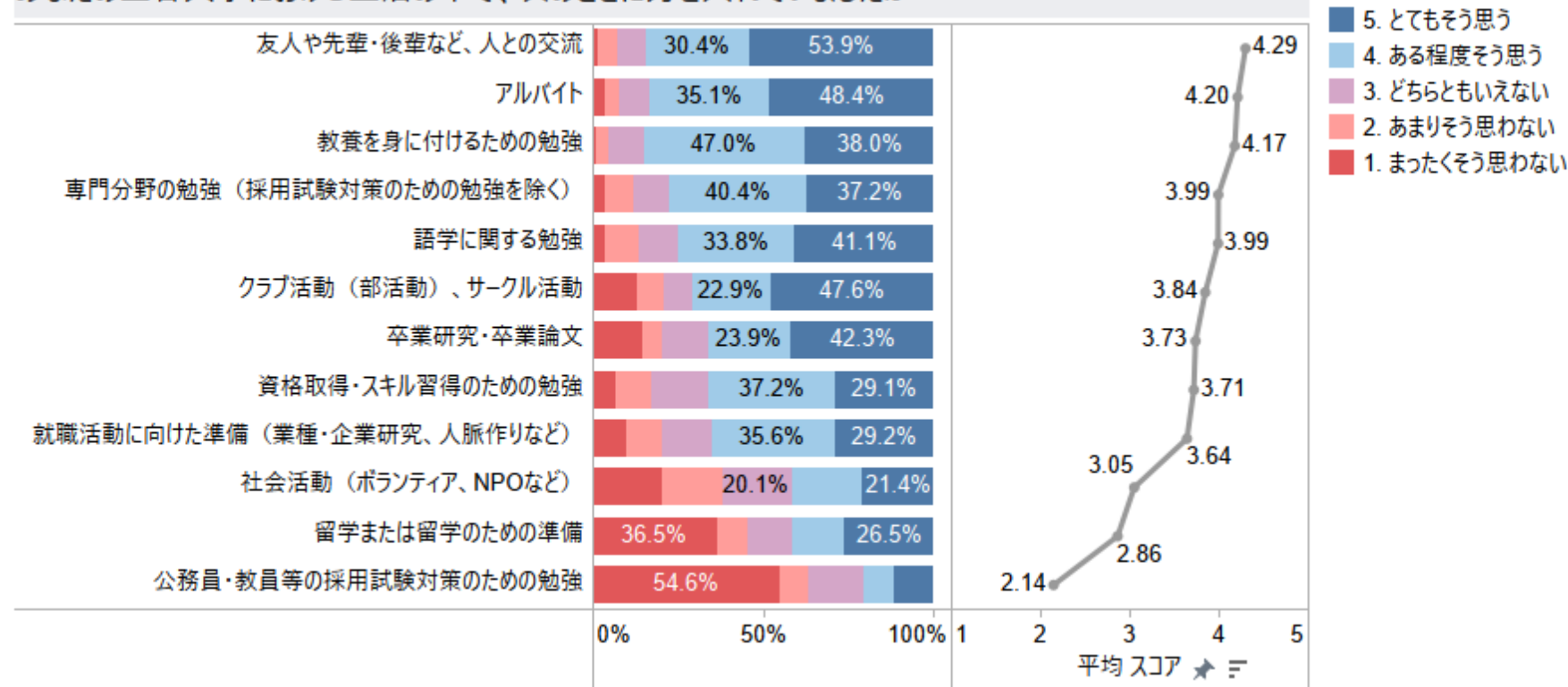
「大学の課外活動などがあった」「留学にあまり価値を感じなかった」。

あなたが留学しなかった主な理由を一つ選んでください



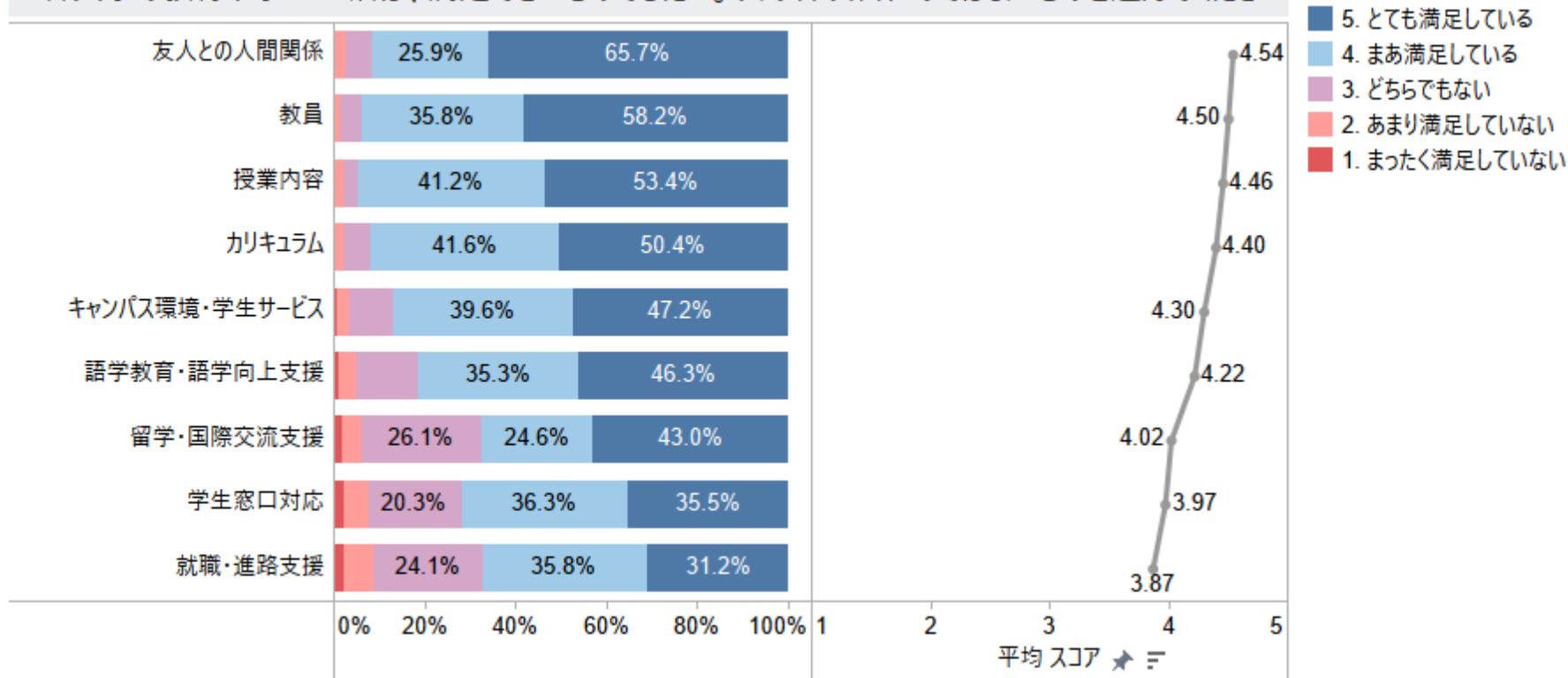
力を入れたことは「人との交流」「アルバイト」や「教養/専門分野/語学に関する勉強」。

あなたの上智大学における生活の中で、次のことに力を入れていましたか



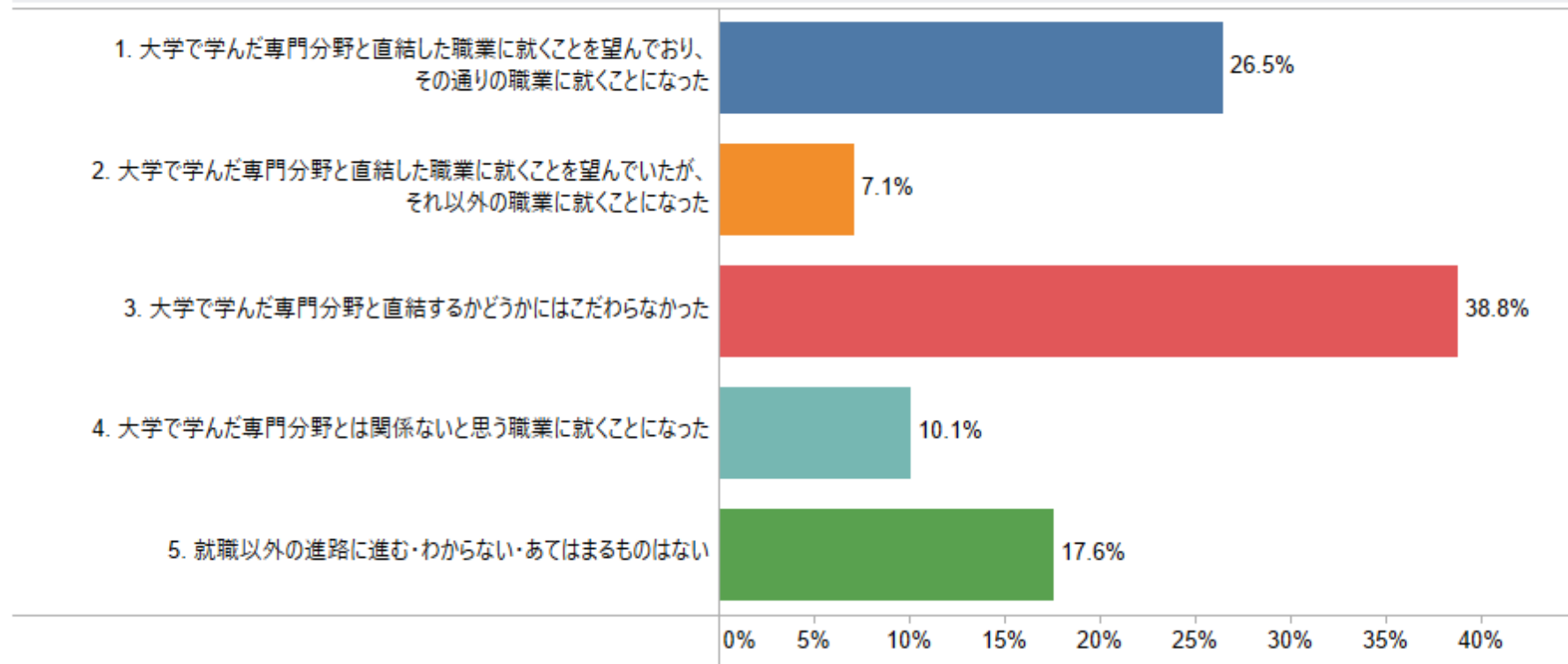
教員・友人や授業内容・カリキュラムに対する満足度が高い一方で、
学生窓口・就職・進路支援といったサービスの満足度が相対的に低い。

上智大学の教育や学生生活は、満足できるものでしたか。次の各項目にあてはまるものを選んでください



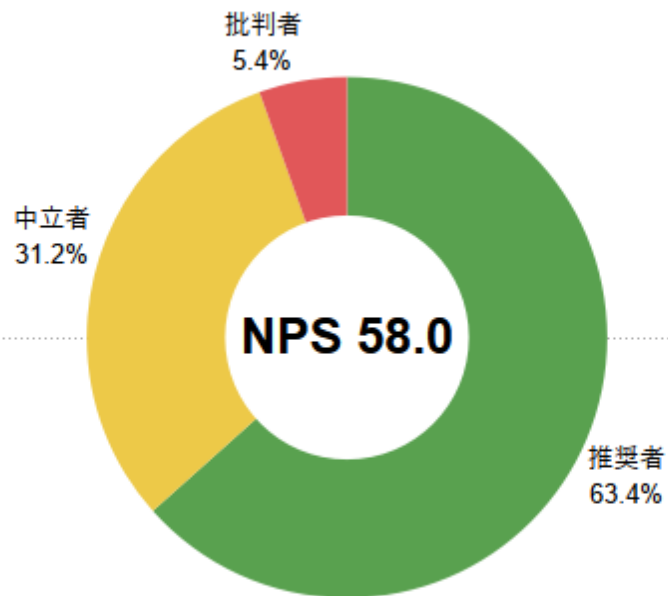
進路について、専門分野と直結するかどうかにこだわらなかった卒業生が38.8%。
直結した職業に就くことを望んでいたが叶わなかった卒業生が7.1%いる。

あなたが上智大学で学んだ専門分野と、あなたの卒業後の職業などとの関係について、あてはまるものを選んでください



全体的なNPS（推奨度の指標）は58.0。

あなたが上智大学を友人や同僚に薦める可能性はどれくらいでしょうか？



推奨度の理由（生成AIによる要約）

1. 人との出会い・成長（約110件）

- ✓ 良い友人・教授との出会いが満足度の中核になっている
- ✓ 人との関係性を通じた自己成長の実感が非常に多い

2. 国際性・多様性（約74件）

- ✓ 留学生・外国人との交流や多様なバックグラウンドが強く評価されている
- ✓ 語学・異文化環境が大学の大きな特徴として認識されている

3. 学習環境・教育内容（約62件）

- ✓ 幅広い学び・自由度の高いカリキュラムが評価されている
- ✓ 教授の質や授業内容、学習機会の豊富さが好意的に言及されている

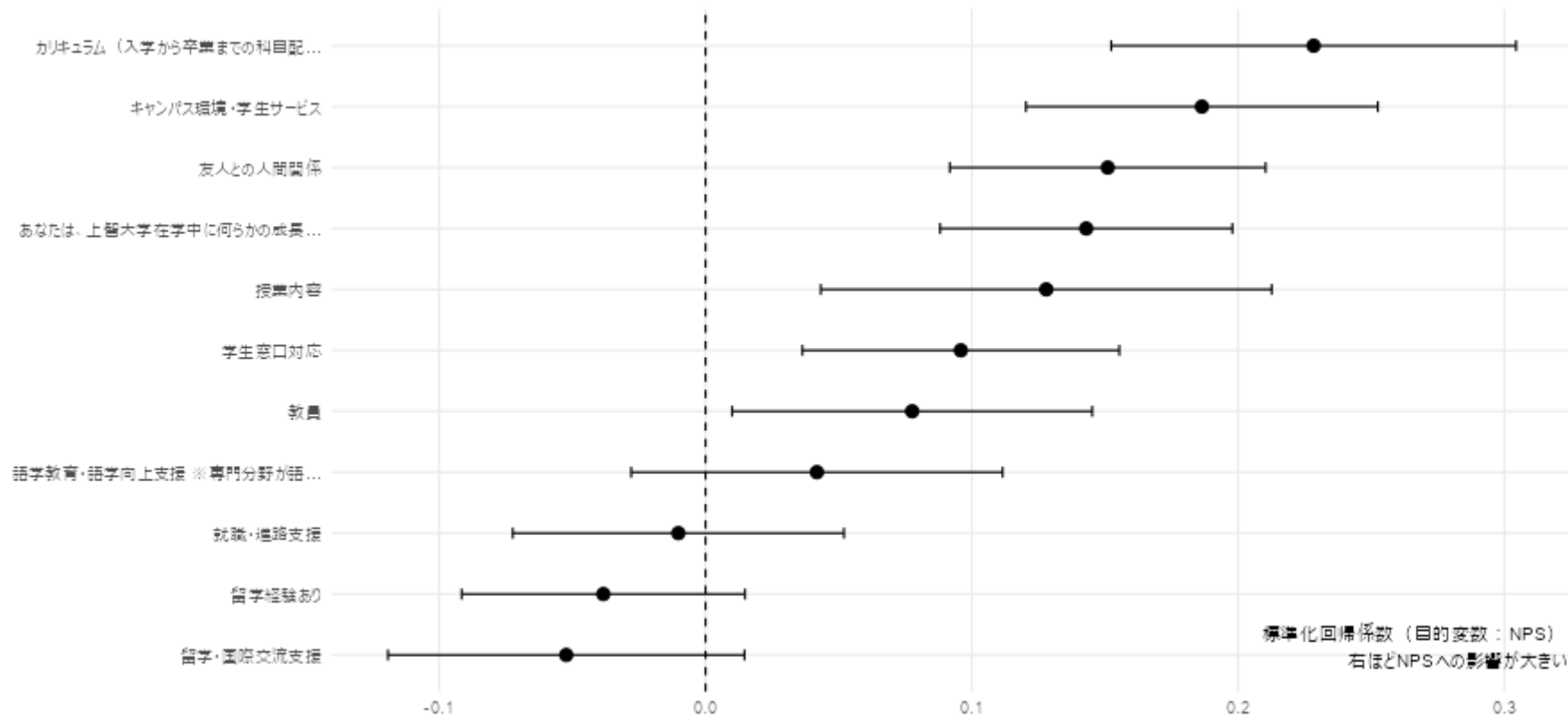
4. 自主性・個人依存（約41件）

- ✓ 環境はあるが「活かせるかは自分次第」という認識
- ✓ 主体的に動ける学生には向くが、そうでない場合は評価が分かれる

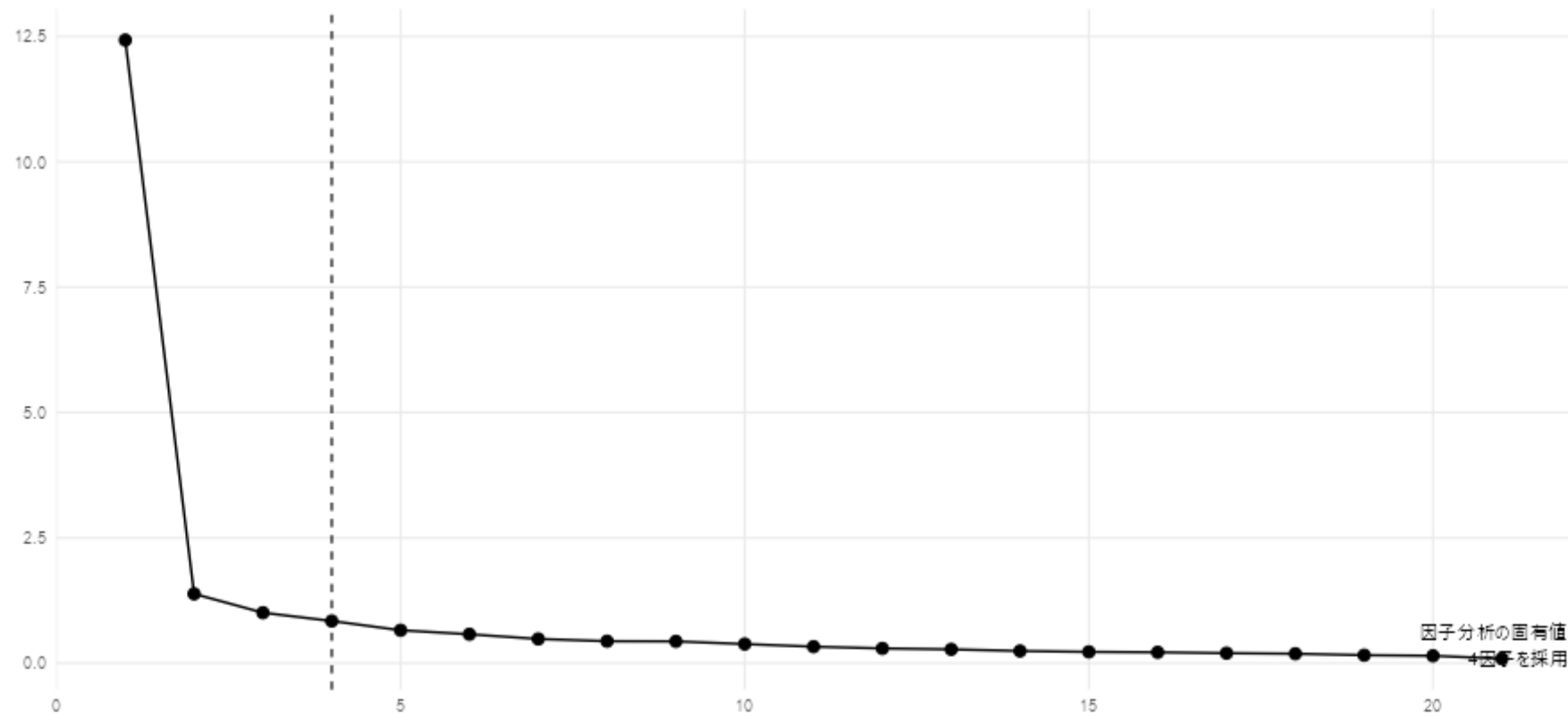
5. ブランド・立地（約21件）

- ✓ 都心立地や就活のしやすさが評価されている
- ✓ ブランド力を理由に挙げる声も一定数存在

学生の推奨意向（NPS）は、成長実感よりも満足度によって強く左右される



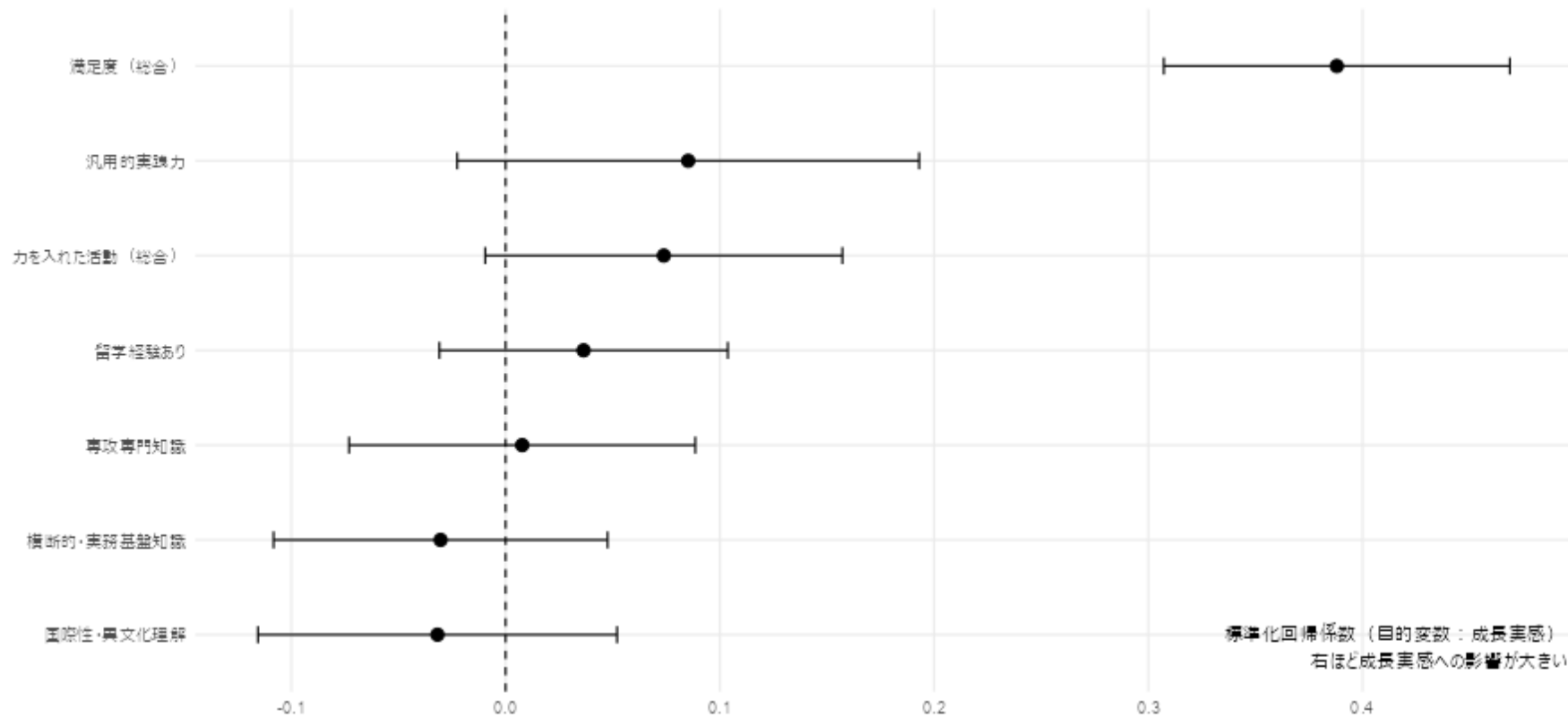
学生の成長実感は、単一ではなく複数の要素から成り立っている



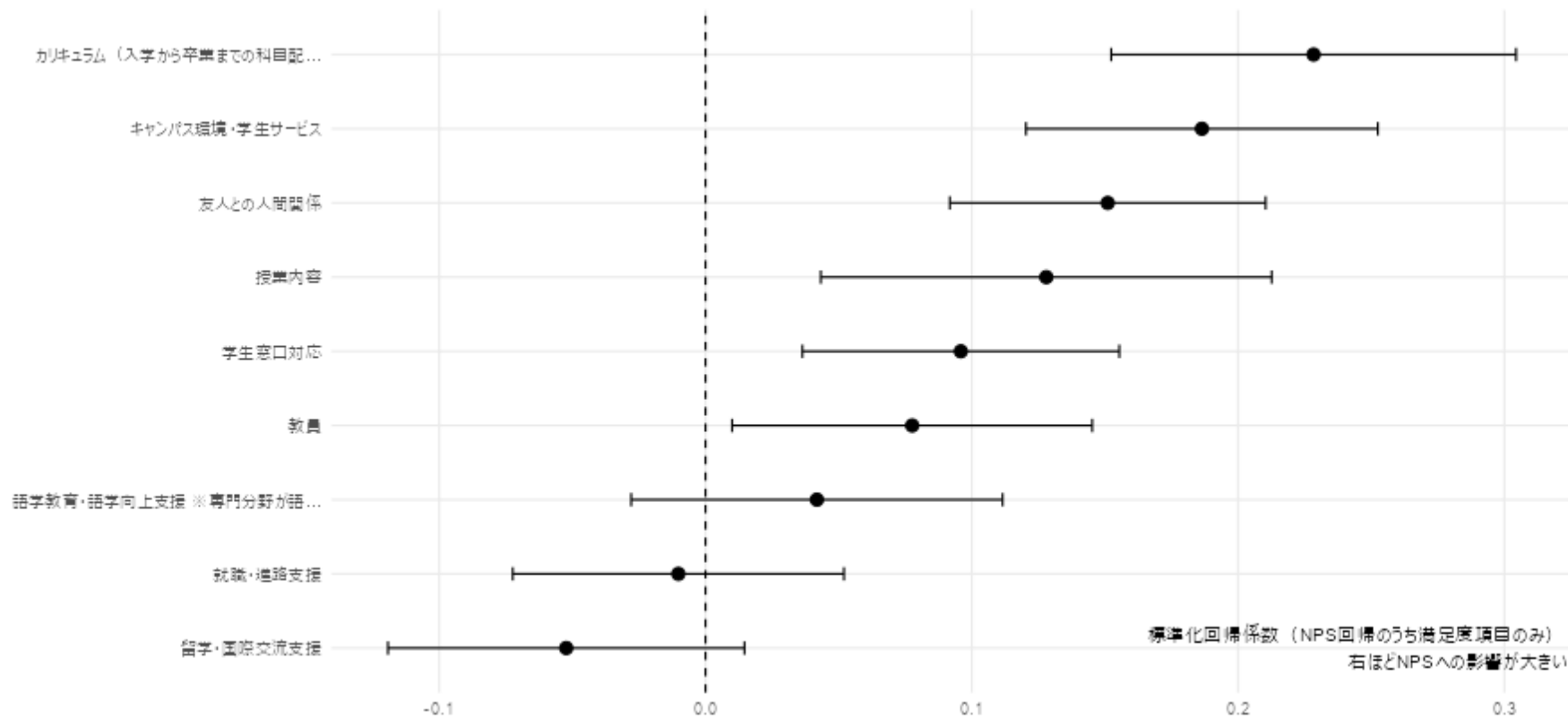
成長実感の項目は、4つの主要因子に整理できる



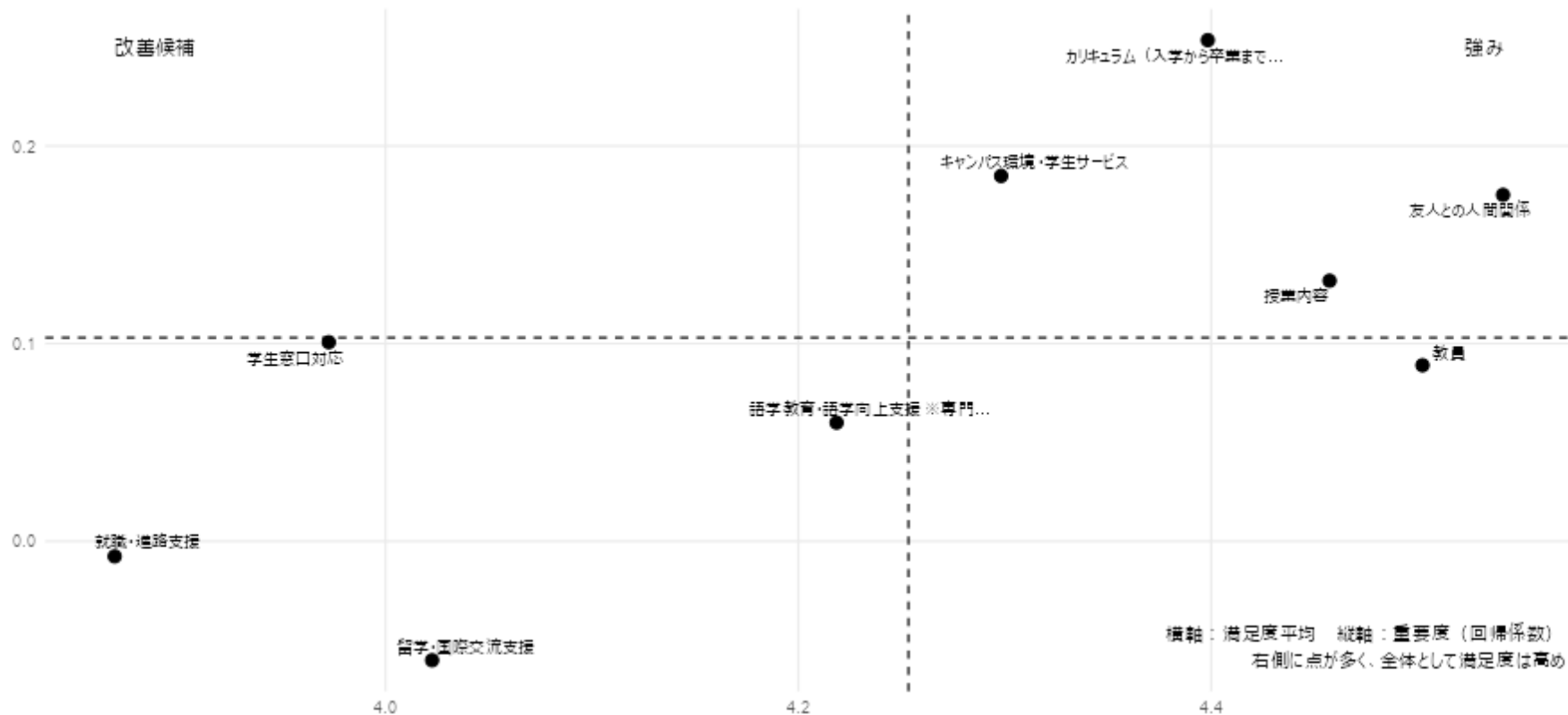
成長実感は、努力と満足度の両方によって高まる



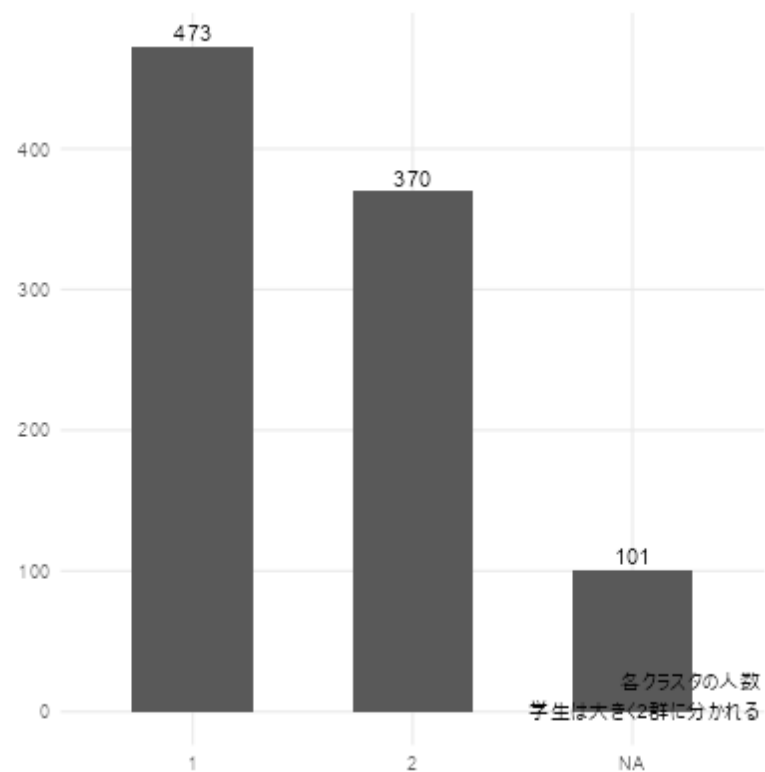
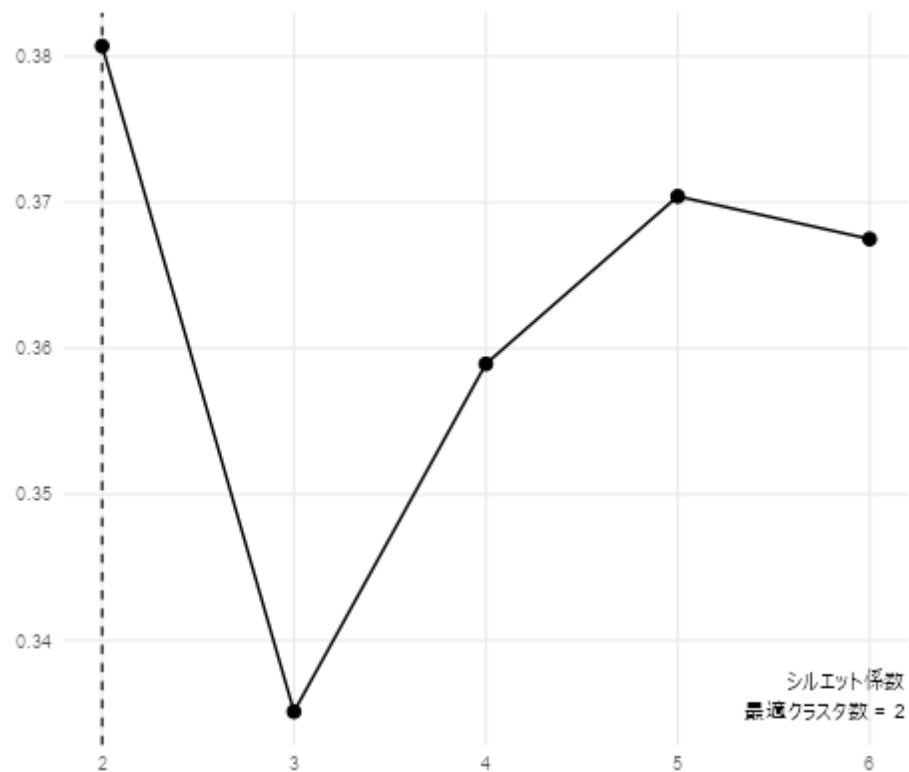
NPSを押し上げているのは、主に個別の満足度項目である



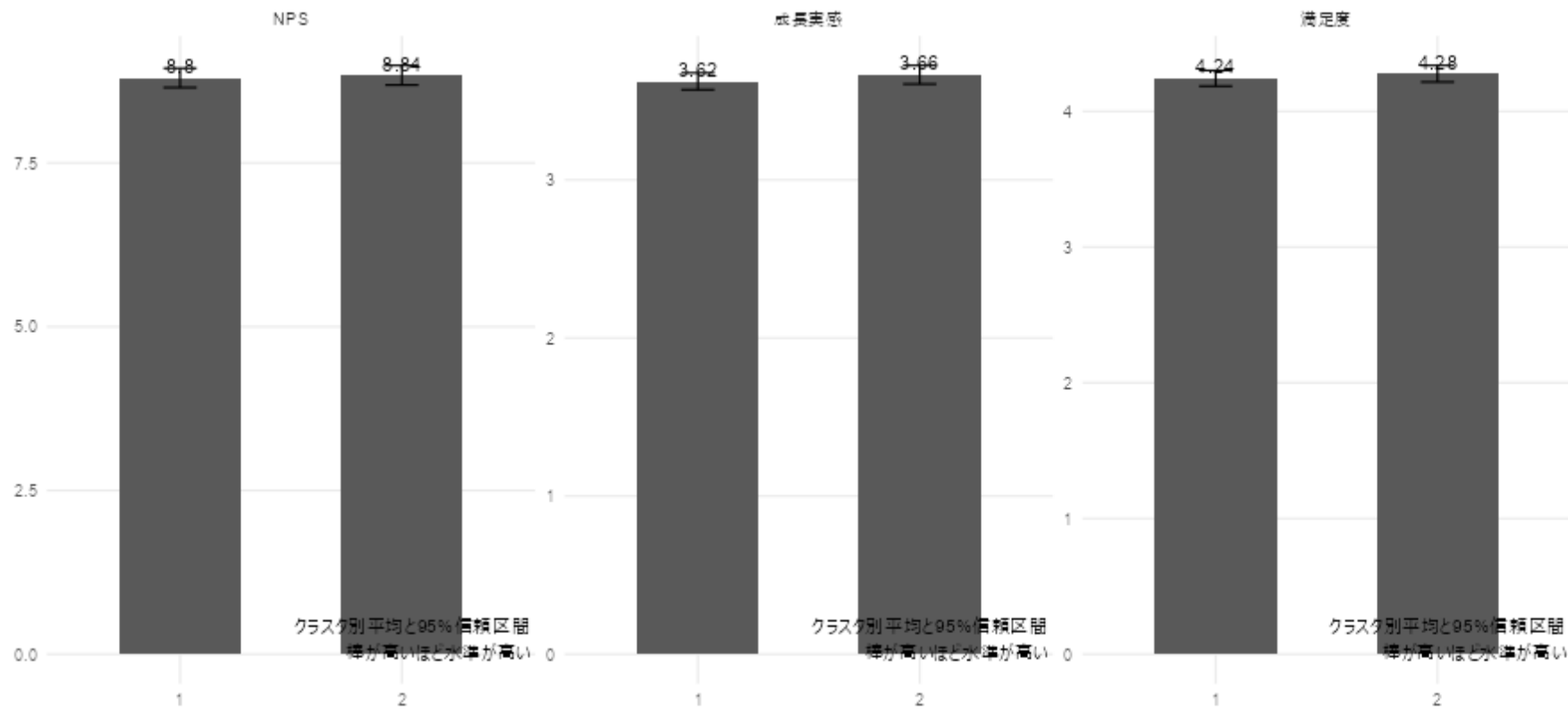
重点改善領域は限定的で、全体として満足度は比較的高い



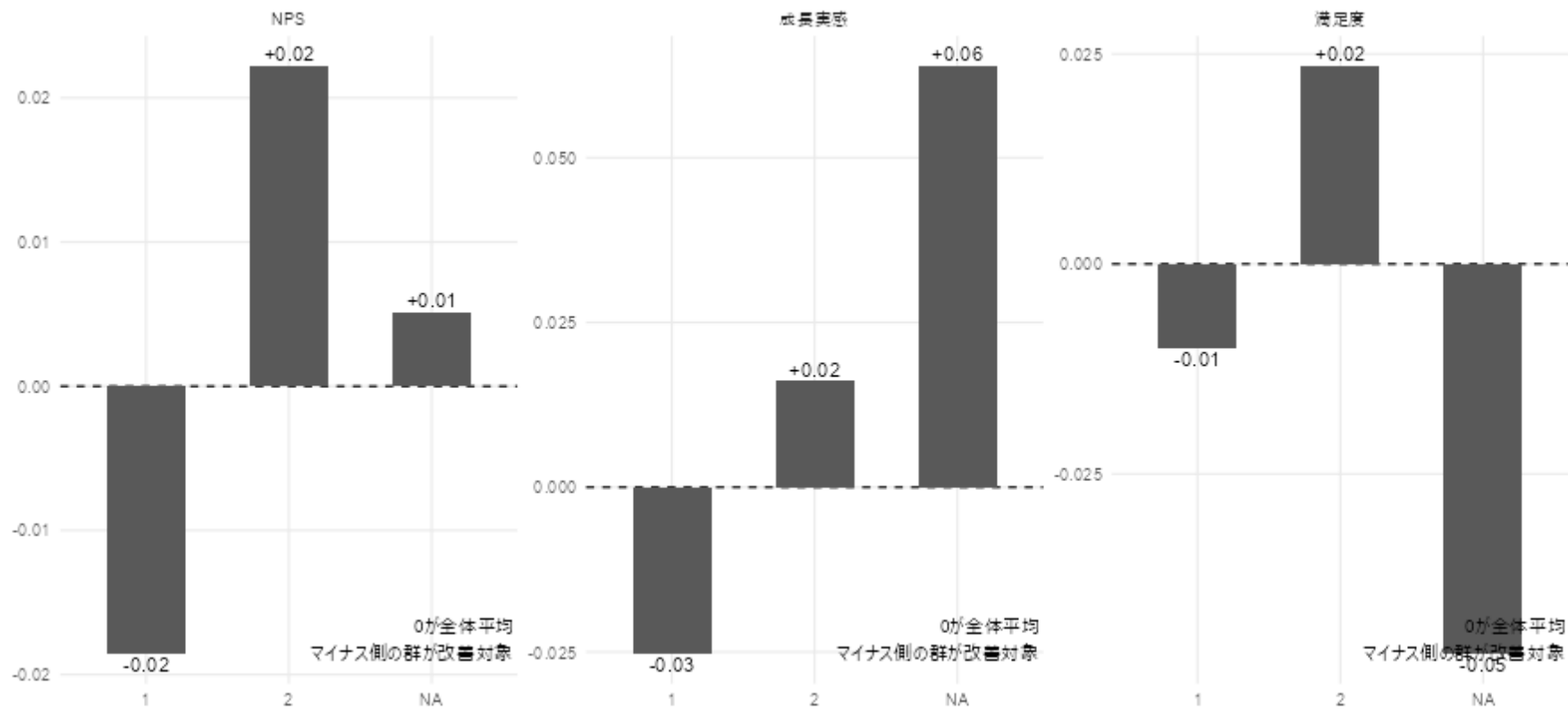
学生は、高評価群と低評価群の2群に分かれる



2群の差は、成長実感・満足度・NPSのすべてに表れる



改善の主対象は、低評価群である



満足度が高いほど、Promoter率は段階的に上昇する

